

**砺波市文化財保存活用地域計画に係る  
市民アンケート調査の結果**

**報 告 書  
(概要版)**

**令和5年2月**

**砺 波 市**



# 目 次

I アンケート調査の実施概要.....	1
II アンケート調査の結果.....	2
1 回答者のプロフィールについて.....	2
問1. 性別                            問2. 年代.....	2
問3. 居住地区.....	2
2 文化財への関心について.....	3
問6. あなたは文化財に関心がありますか（一つだけ）.....	3
問6-2. 問6で「3あまり関心がない」、「4全く関心がない」を回答された方にお伺いします。文化財に関心がない理由は何ですか。（二つまで）.....	4
問7. あなたが文化財に接する機会は何ですか（いくつでも）.....	4
3 文化財の保存・活用の重要性について.....	5
問8. 文化財を「大切なもの」として次世代に伝え・活用していくことは重要だと思いますか（一つだけ）.....	5
4 未来に残したい文化財について.....	5
問9. あなたが未来に残したい「文化財」とは何ですか（いくつでも）.....	5
問10. 砺波市の文化財で大切だと思うもの（自慢できるもの）を教えてください.....	6
問11. 文化財に指定されていないが、地域で大切にされているものがあれば教えてください（いくつでも）.....	7
5 文化財の保存継承・活用の取組について.....	8
問14. 文化財の保存継承・活用のため、砺波市が力を入れるべきことは何だと思いますか（五つまで）.....	8
問15. 文化財を守っていくために、あなたならどんなことに協力できますか（したいですか）（いくつでも）..	9
問16. 砺波市の文化財の保存・活用についてご意見・ご要望など、ご自由にご記入ください。.....	11

## I アンケート調査の実施概要

### (1) 調査の目的

文化庁「文化財保存活用地域計画の策定等に関する指針」に基づく「砺波市文化財保存活用地域計画」の策定にあたり、市民の文化財に関する意向等を計画に反映するため、市民の文化財に対する意識や保存・活用に対する考え方等についてのアンケート調査を実施する。

### (2) 調査の対象

砺波市在住の18歳以上の市民1,300人（無作為抽出）、

### (3) 調査の実施方法

- ・全ての対象者に郵送配布（「アンケート調査票」「返信用封筒」「アンケート回答要領」を封筒に同封）
- ・「アンケート回答要領」にはインターネット回答も選択できることを記し、インターネット回答フォームへアクセスするためのURLとQRコードを記載

### (4) 調査の実施期間

- ・発送：令和4年12月15日
- ・回答締切：令和5年1月10日

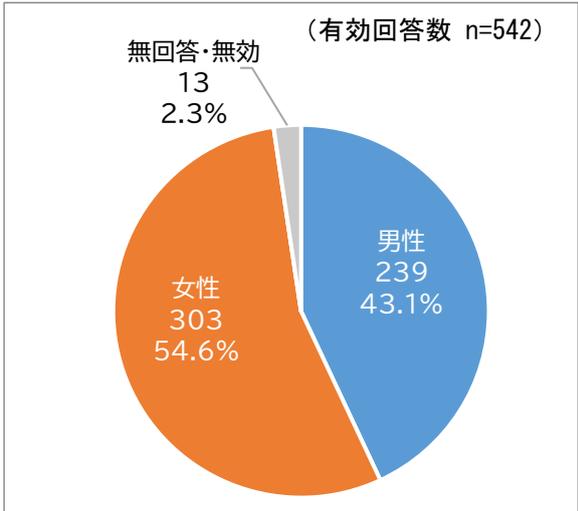
### (5) 実施結果（回収数・回収率）

配布数	有効回答数			回収率
	郵送回答	WEB回答	計	
1,300	421	133	555	42.7%

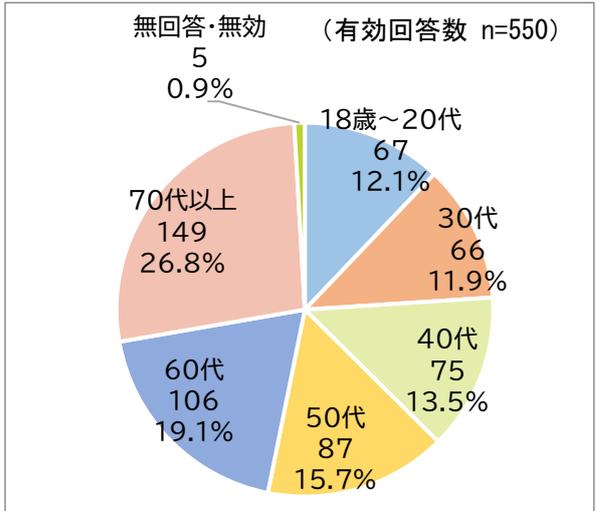
## Ⅱ アンケート調査の結果

### 1 回答者のプロフィールについて

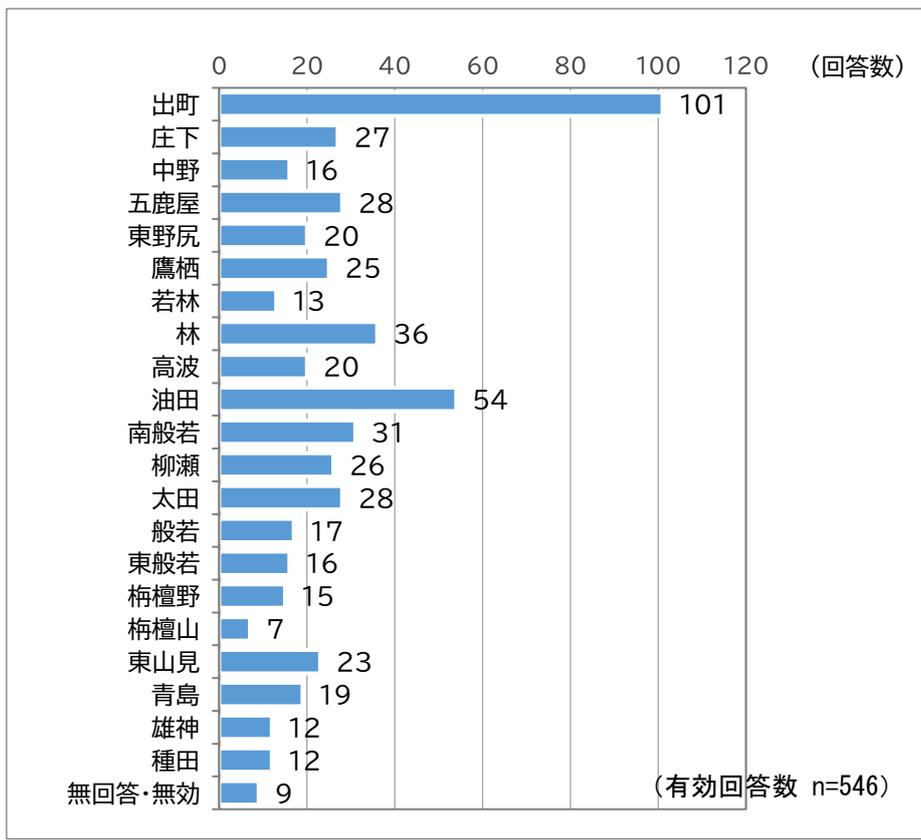
#### 問1. 性別



#### 問2. 年代



#### 問3. 居住地区



## 2 文化財への関心について

### 問6. あなたは文化財に関心がありますか (一つだけ)

[全体] (図 6-1)

- ・文化財の関心度について、「関心がある」が12.3%、「どちらかと言えば関心がある」が42.9%、「あまり関心がない」が38.0%、「全く関心がない」が4.3%となっている。
- ・「関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」を合わせると約55%で、高くはない。

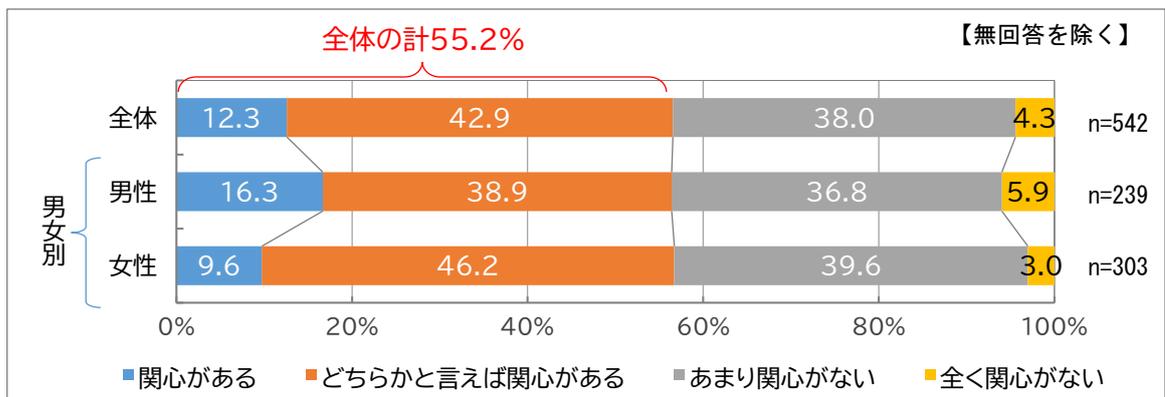


図 6-1 文化財への関心度 (全体/男女別)

[年代別特色] (図 6-2)

- ・年代別にみると、年齢が高くなるにしたがって関心を持つ割合が高くなる傾向が見られる。

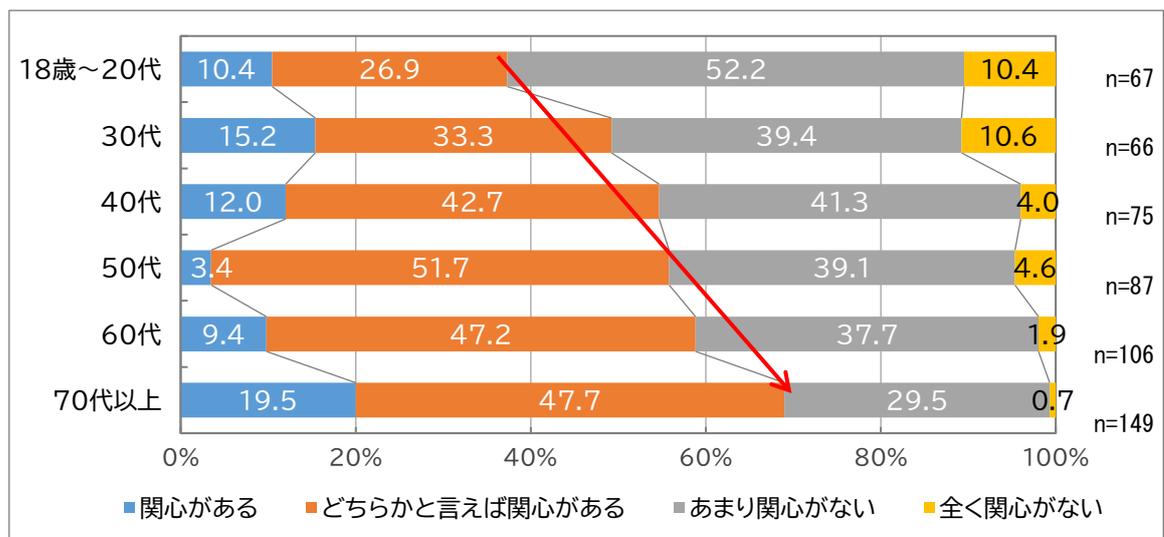


図 6-2 文化財への関心度 (年代別)

問6-2. 問6で「3あまり関心がない」、「4 全く関心がない」を回答された方にお伺いします。文化財に関心がない理由はなんですか。（二つまで）

- ・文化財に関心がない理由として、全体では「生活に影響がない」が60.4%と最も多く、次いで「どんなものがあるか知らない」(37.4%)、「難しくて分かりにくい」(23.8%)の順となっている。
- ・年代が高くなるに連れて「生活に影響がない」が多くなる傾向が見られる。
- ・若い世代ほど「難しくて分かりにくい」や「歴史が好きでない」の割合が多く見られる。

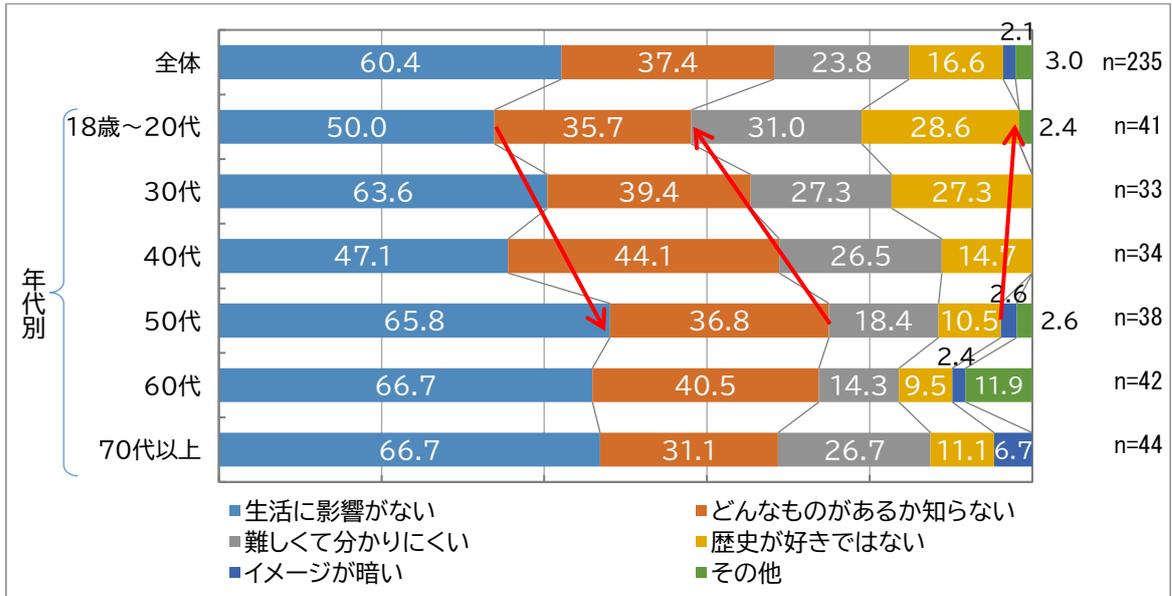


図 6-3 文化財に関心がない理由（全体）（年代別）

問7. あなたが文化財に接する機会は何ですか（いくつでも）

- ・文化財に接する機会として、「観光・旅行先」が66.3%で最も多く、次いで「祭りや伝統行事」(47.4%)、「テレビやラジオ等の番組」(45.8%)、「博物館等の施設」(38.2%)、「雑誌」(33.3%)の順となっている。

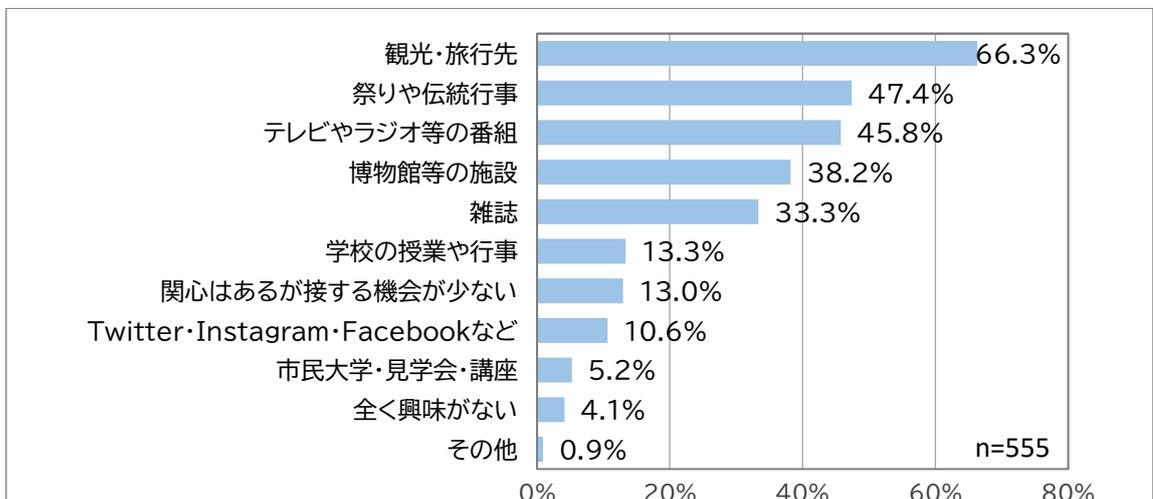


図 7-1 文化財に接する機会（全体）

### 3 文化財の保存・活用の重要性について

問8. 文化財を「大切なもの」として次世代に伝え・活用していくことは重要だと思いますか (一つだけ)

- ・文化財の保存・活用について、「重要だと思う」が37.8%、「どちらかといえば重要だと思う」が42.9%で、これら二つ合わせて概ね重要だと思うが約80%となっている。

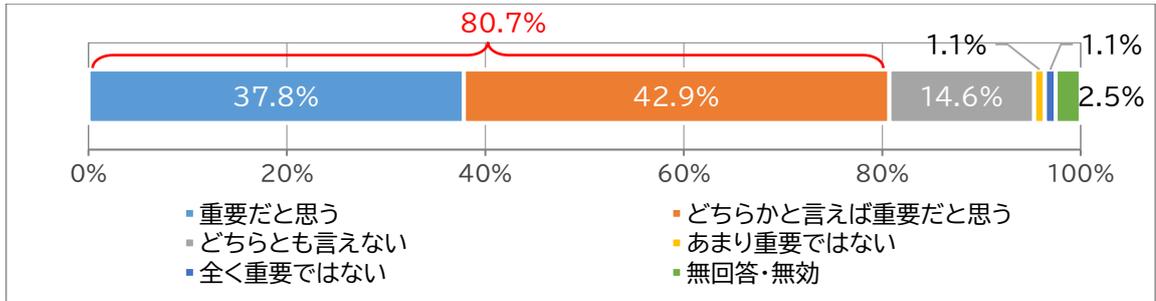


図 8-1 文化財の保存・活用について (全体)

### 4 未来に残したい文化財について

問9. あなたが未来に残したい「文化財」とは何ですか (いくつでも)

- ・未来に残したい「文化財」について、「歴史のある建築物」が57.7%で最も多く、次いで「散居村(散村)の集落景観」(55.1%)、「古い神社や寺」(49.5%)、「地域に伝わる祭りや伝統行事」(48.5%)などの順になっている。

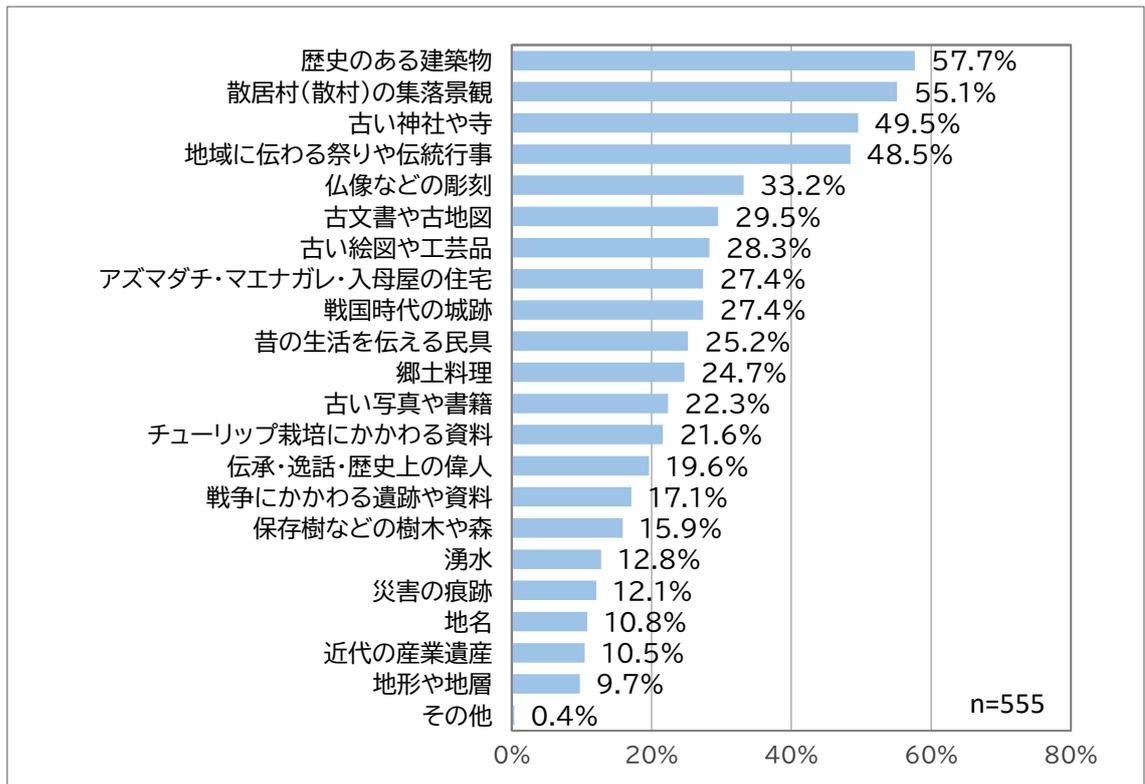


図 9-1 未来に残したい「文化財」(全体)

問 10. 砺波市の文化財で大切だと思うもの（自慢できるもの）を教えてください  
（いくつでも）

- ・ 砺波市の文化財で大切だと思うもの（自慢できるもの）として、「出町子供歌舞伎曳山」が 44.5% で最も多く、次いで「増山城跡」(38.7%)、「小牧ダム」(37.3%) の順になっている。

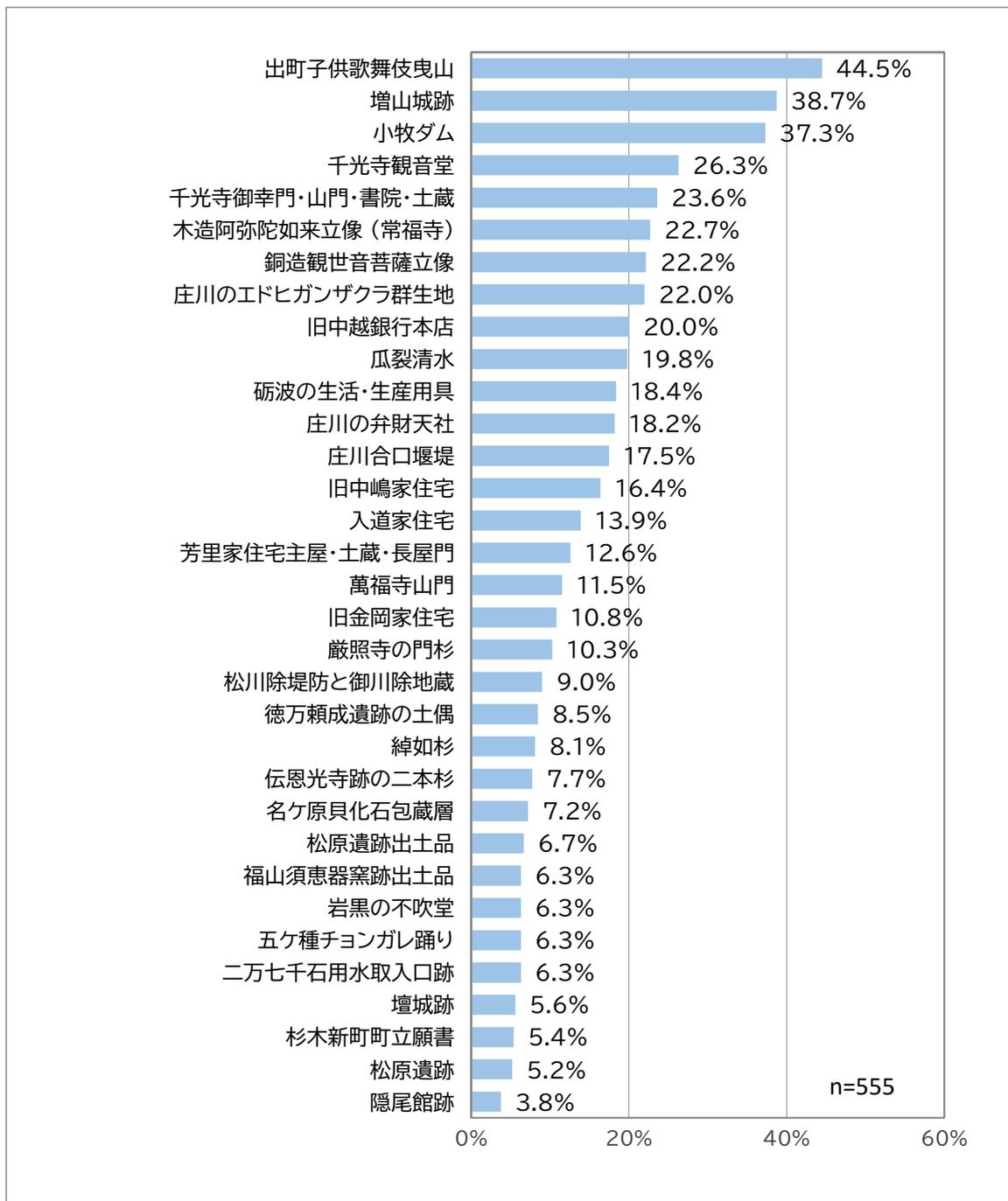


図 10-1 砺波市で大切な（自慢できる）文化財（全体）

問 11. 文化財に指定されていないが、地域で大切にされているものがあれば教えてください (いくつでも)

- ・文化財に指定されて以内が、地域で大切にされているものを自由記述で挙げてもらったものを類型化して一覧表に整理したものが下表である。

表 11 文化財に指定されていないが、地域で大切にされているもの

分類	名称(所在地)
史跡	墓や相撲の石碑、墓石の一部(若林西中の坂田家)、金屋石採掘跡(庄川町金屋ウッドプラザ近く)、旧巖照寺跡(権正寺)、旧島巖宅跡(権正寺)、地下工場用トンネル跡(庄川町庄)、館の土居跡(坊村)、旧浅草観音跡(田中)
塚	長念寺塚(塚山)、西行塚(三谷)、長尾為景塚(頼成新)
地蔵	八伏峠地蔵堂(八伏峠)、六体地蔵(苗加)、地蔵・観世音菩薩(庄川町金屋畑直地区)、庄川沿いの石仏、地蔵群、市内各地の地蔵
像	太子像(林)、庄川大仏(庄川町金屋光照寺境内)、太子堂(狐島)、山王町阿弥陀仏(山王町)、菅原道真銅像(太田七区)、二宮尊徳
寺社	光圓寺、万福寺観音堂(太田)、木船神社(鷹栖 16 区)、林神社(頼成)、寺(野村島)、盤持石(若林西中神明社甚蔵島)、桑野神社、現五社神社(東保高地)
建物	K 様邸(中野地区)、東別所公民館(旧東別所分校跡)、木村産業(庄川町金屋)、小学校
まつり	杉木日吉社秋の祭礼、神社の祭礼(林地区、紺屋島)、庄川観光祭(庄川町)、お盆の庄川花火、左義長、田祭り、チューリップフェア、チューリップ公園のイルミネーション
獅子舞	獅子舞(中野上・下村獅子方、徳万、東開発、頼成、南般若石北・石南地区、石丸、鷹栖、庄川町地区、市内各地) 南北獅子舞競演(東石丸)、江波獅子舞保存会(高波)
唄、踊り	えんじゃら節・踊り(南般若)、越中いさみ太鼓保存会(野村島)
行事	野菜の鶴亀(花島地区)、左義長(出町地区)、厄払い鯉の放流(庄川町金屋)
人物	石崎 謙(旧小島村)、森井覚五郎収集の文献、古い新聞等(西中東川武信?)
食	若鶴酒造、若鶴大正蔵(油田・三郎丸)、金屋ねぎ(庄川町金屋)、大門素麺(大門)、報恩講料理
水	水記念公園、庄川堤防、山上の池(庄川町庄)、上和田、池原サイフォン(江戸・明治以降の庄川の治水関連)
樹木	杉木日枝社境内の大樹(杉木3丁目)、保存樹ケヤキ大木(大門)、いろはかえで(五郎丸)、出町大けやき(出町広上町)
チューリップ	チューリップ四季彩館、チューリップ公園、オランダからの風車、チューリップ
その他	きぼりの里(彫刻)(庄川)

## 5 文化財の保存継承・活用の取組について

問 14. 文化財の保存継承・活用のため、砺波市が力を入れるべきことは何だと思えますか (五つまで)

- ・文化財の保存継承・活用のため、砺波市が力を入れるべきことについては、「地域の祭りや伝統芸能の継承」が36.8%と最も多く、次いで「学校教育との連携」(35.9%)、「文化財の指定や登録など行政による保護」(33.9%)の順になっている。

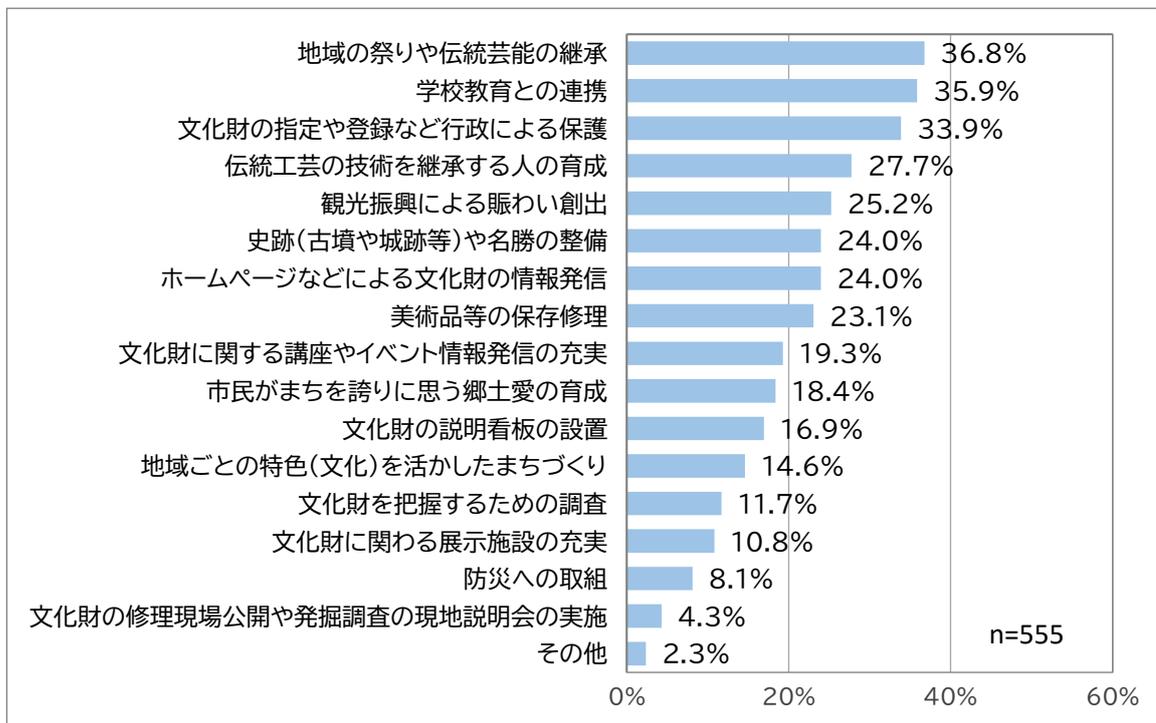


図 14-1 文化財の保存継承・活用のため、砺波市が力を入れるべきこと (全体)

問 15. 文化財を守っていくために、あなたならどんなことに協力できますか（したいですか）（いくつでも）

[全体] (図 15-1)

- ・文化財を守っていくために協力できることについてみると、「文化財を公開している施設や博物館などへ行き、文化財保存に関する理解を深めたい」が47.7%で最も多く、次いで「地域の伝統的な祭りなどに参加し、文化継承に協力したい」(20.7%)、「地域の史跡等の草刈りや清掃活動等にボランティアなどとして参加し、保存や活用の手助けをしたい」(15.3%)の順となっている。

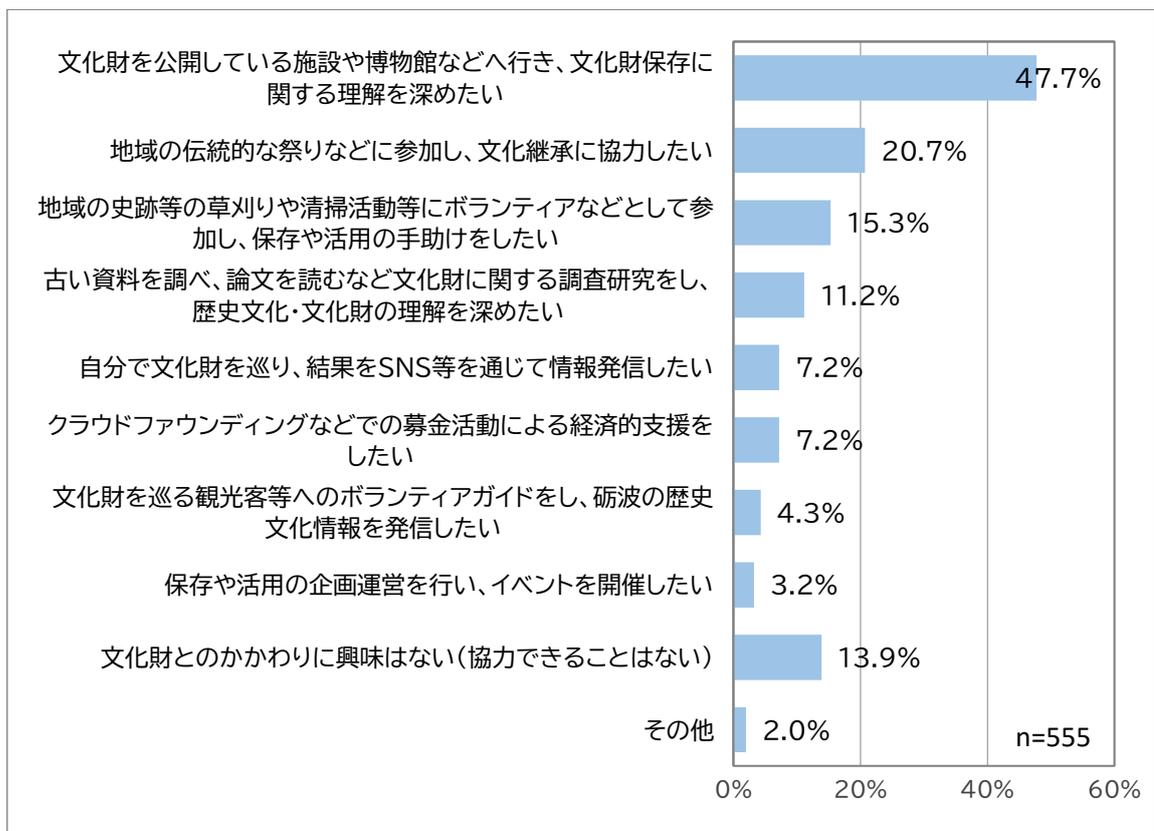


図 15-1 文化財を守っていくために協力できること（全体）

[年代別特色] (図 15-2)

- 年代別の特色をみると、年齢が高くなるに従い「文化財を公開している施設や博物館などへ行き、文化財保存に関する理解を深めたい」や「地域の史跡等の草刈りや清掃活動等にボランティアなどとして参加し、保存や活用の手助けをしたい」が多くなる傾向が見られる。
- 若い世代ほど「地域の伝統的な祭りなどに参加し、文化継承に協力したい」が多くなる傾向が見られる。
- 18歳～20代、30代は、「自分で文化財を巡り、結果を SNS 等を通じて情報発信したい」が他の年代に比べ多い。

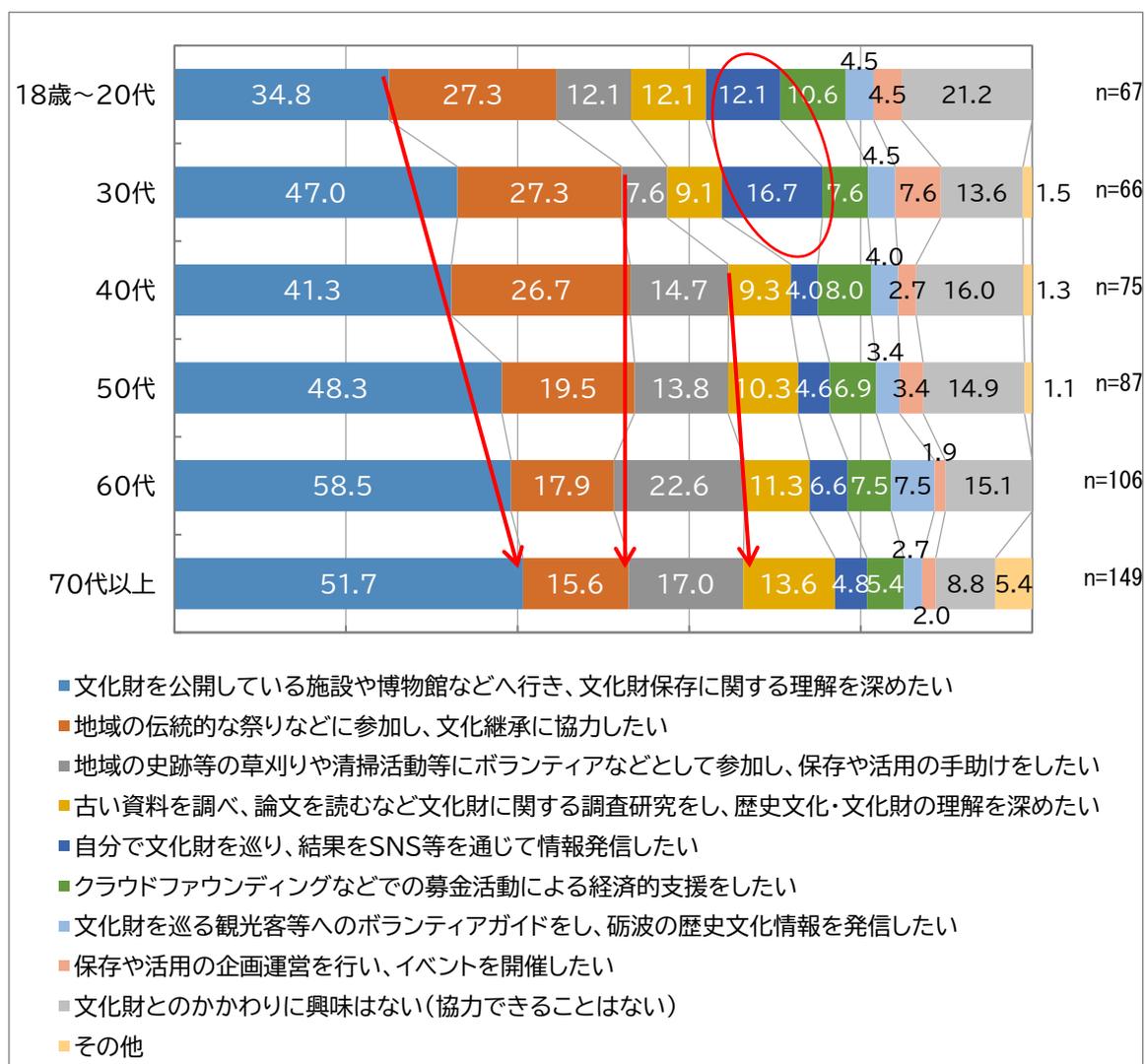


図 15-2 文化財を守っていくために協力できること (年代別)

**問 16. 砺波市の文化財の保存・活用についてご意見・ご要望など、ご自由にご記入ください。**

・砺波市の文化財の保存・活用についてご意見・ご要望などを自由に記述してもらったものを類型化・集約化し、代表的な意見として一覧表に整理したものが下表である。

表 16 砺波市の文化財の保存・活用についての意見・要望など（自由記述）

意 見	年代
<b>■祭りやイベント、ボランティア参加等に関すること</b>	
文化財の見学イベントが開催されれば、遠足気分を楽しみたい。	70代以上ほか
文化財を知る機会を増やしてはどうか。親と子が楽しめる明るいイベントを企画・実施をし、それを SNS 等通して県外の人に発信すれば観光へもつながるのではないか。	30代ほか
文化財の保存のイベントを開き、企画運営に住民も参加、協力してほしい。	70代以上ほか
<b>■学校教育等に関すること</b>	
保、小、中の教育にもっと文化財に対する理解を深められるような教育を取り入れてほしい。子ども時代の記憶は心に残り、郷土愛につながると思う。	40代ほか
<b>■文化財の発掘、観光振興、街づくり等に関すること</b>	
文化財を観光にいかし、賑わいを創出し、国内外に発信してほしい。	30代ほか
住みやすい町と文化財の保存を両立し、文化財が映える美しい町にしてほしい。	18歳～20代
<b>■情報発信等に関すること</b>	
知る機会が増えれば保存の支援に協力しやすくなると思う。	60代ほか
広報となみなどで1か所ずつシリーズとして紹介していけば市民の理解が進むのでは。	60代ほか
体験型のものや文化財とおしゃれなものや SNS などで関わらせることで若者世代の興味も増えると思う。	18歳～20代ほか
図書館、郷土資料館、散居村ミュージアム、埋蔵文化センターは利用者減や人口減に左右されず、ずっと存続してほしい。小学生(低学年)にも分かるやさしい内容の郷土資料、文化財ガイドを充実してほしい。	18歳～20代ほか
広報やケーブルテレビ等を活用して、広く市民に周知の機会を増やしてほしい。	60代ほか
文化財の保存も重要だが、もっと文化財を活用したまちづくりや、対外的アピールが必要。まだ活用しきれていない呉西圏域の優れたコンテンツと連携し、対外的 PR をすべき。	60代ほか
砺波市指定文化財の勉強会(講師による)に大人も子供参加して知識を得れば、大切だとか次世代に伝えるべきものと判断できると思う。	60代ほか
<b>■保存と負担、支援等に関すること</b>	
文化財の保存には市の予算にも限界があるので郷土史にまとめて現物保存を諦めるものもあって良いと思う。	40代ほか
文化財の保存にあたり、個人に重い負担にならないよう、また民間経済の妨げになるような場合は柔軟に対応してほしい。	40代ほか

